

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

千葉県 旭市

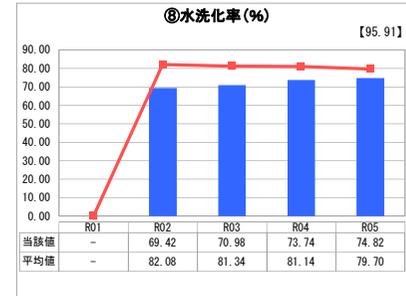
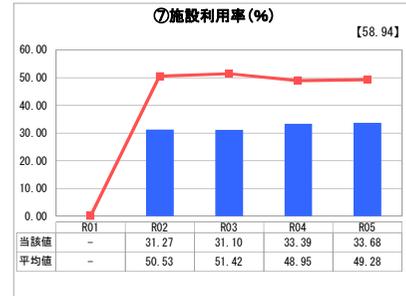
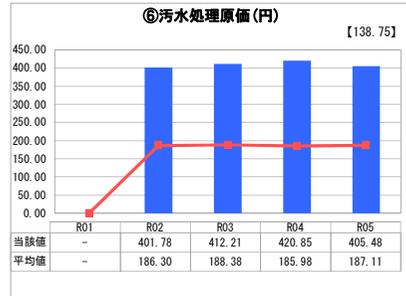
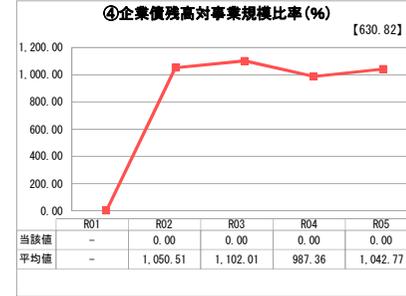
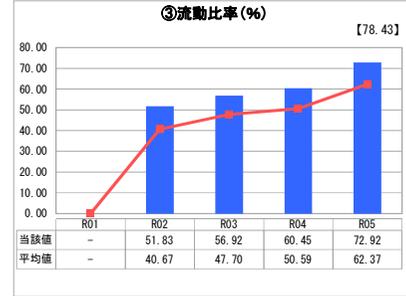
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	70.63	10.45	84.20	2,750

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
62,747	130.47	480.93
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,509	2.02	3,222.28

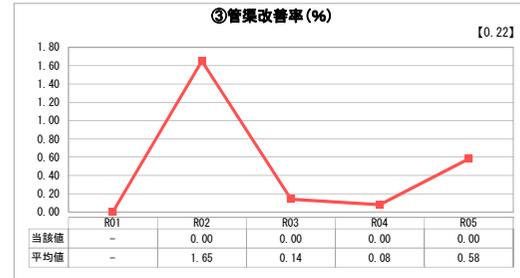
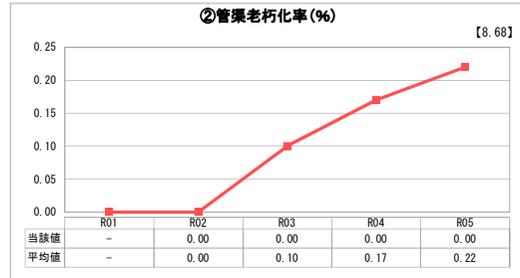
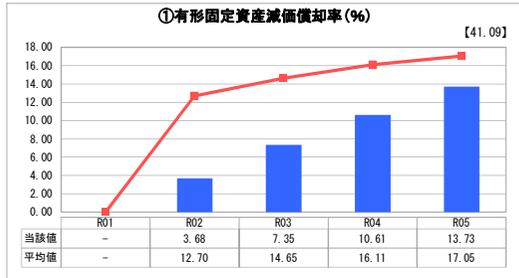
**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

水洗化率については、普及促進活動により微増の傾向にあるものの、類似団体平均値及び全国平均値を下回っている。このため使用料収入が少なく、経費回収率は100%を下回っており、一般会計からの繰入金に依存する経営となっている。

また、汚水処理原価は類似団体平均値及び全国平均値より高額であり、施設利用率は類似団体平均値及び全国平均値を下回っている。

現状を少しでも改善するため、更なる普及促進に努め、水洗化率の向上を図り、使用料収入を確保するとともに、施設の長寿命化や広域化・共同化による効率的な維持管理を行っていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

平成6年度建設を開始し、平成12年3月31日から供用を開始した。今までは特段の老朽化対策は行わず、既存施設の修繕を行いながら施設の長寿命化を図ってきたが、供用開始から20年以上経過し更なる効率的な改修・更新等が必要となるため、令和5年度に見直しを行った「旭市公共下水道ストックマネジメント計画」に基づき、的確な施設設備更新を進め老朽化に備えていく。

## 全体総括

令和2年度から地方公営企業法を適用したことから、令和元年度以前の実績について記載はないが、使用料収入については大きな変化がなく、依然として一般会計からの繰入金に依存している状況である。

また、施設の老朽化により更新、修繕等の経費の増加が予想される。

今後は計画的な施設の老朽化対策の実施や更なる普及促進に努め、経常収支比率、経費回収率の向上を目指していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。